仮庁舎不要・工期30カ月+庁舎は「鹿沼の展示場」鹿沼の木工・木製品やイベントを身近に感じる庁舎とします。

基本方針

1. 仮庁舎なし工期 30 ヵ月を実現する建替計画

西高台を利用した施設配置と、複数工事を並行して行 う施工計画で、仮庁舎なしでも工期短縮を実現します。

- 2. 明快な完全区画で「居ながら工事」に配慮 市民動線と工事車両を安全に分離します。騒音を抑え た工法と高遮音の仮設計画で環境に配慮します
- 3. 歴史・伝統を継承し発信する「鹿沼の展示場」 「鹿沼テラス」には既存レリーフを移設し、ロビーには 彫刻屋台を展示します。外構には市花のさつきを配植 し、鹿沼らしい庁舎とします。
- 4. 将来の人口減にも対応可能な新庁舎計画 現新館の改修利用案と一体改築案を基本設計で検証し 変化に対応できる庁舎とします。
- 5. 神社・公園・まちの駅との連携が誘う賑わい 駐車場はイベントや秋祭りで活用可能です。周辺を回 遊動線で結び、街づくりの拠点をつくります。



仮庁舎不要:南側に行政棟、西高台の駐車場に議会棟

を建設します。新築部だけで現庁舎分の移転が可能で

す。現東館は改修し、工事中の会議室として利用します。

工期 30 か月: 仮庁舎なしの場合、通常、工期が延びま

すが、各種工事を並行して行う建替計画とすることで、

基本計画に示された工期30ヵ月で全て完了します。

発注支援:市内業者の参加実現に向け、総合評価落札

方式を提案します。その方式を活用する発注業務支援

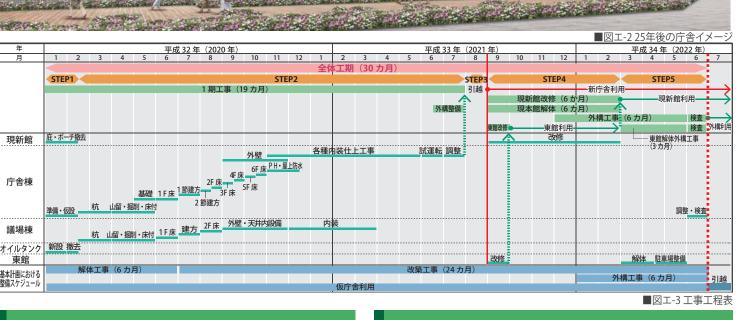
■図エ-1 鹿沼の活性化の中心となる庁舎のイメージ

・安心に業務継続

安全確保:明快に工事エリアを区分し、安全鋼板で堅固に区 画します。工事動線と市民利用動線の動線交錯を回避します。 **騒音抑制**:防音パネルで工事中の建物を包みます。鉄 骨造+PC床+乾式壁を主とし、騒音源となるコンクリー ト打設、型枠解体を削減します。

駐車場:最少台数となる期間も敷地内8台、東館9台、 公民館跡地 25 台、計 42 台を確保します。公民館跡地 は2段式にすると約50台を確保可能です。この場合、 竣工後総計 200 台となります。

ATM: 工事中も現在位置のまま利用可能とします。

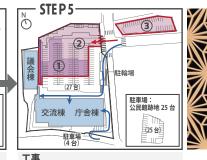


将来改築する 3 階建約 1,000 ㎡の「公民館

庁舎は鹿沼の展示場- 鹿沼の魅力を全国に発信

木工・木製品: 鹿沼産の組子、木扉、家具、集成材、合板、 LED 照明を積極的に採用します。ネーミングライツの 設定や内装木材への**有償署名公募**など、コストダウン との両立を図る提案をします。

深岩石: 鹿沼テラスの内装材に採用します。また、擁壁 保護仕上に採用し、大谷石より高い耐久性をPRします。 **既存レリーフ**: 既存庁舎ロビーの大型レリーフを鹿沼 テラスに移設し、鹿沼の文化を継承、PRします。[図イ-1] 市花のさつき:積極的に植栽し、鹿沼の園芸をPRします。



現本館解体工事 -2 外構整備工事 -2

現東館解体、外構整備工事 ・北側から行政棟にアプローチ

• ATM 移設 駐車場 敷地内 31 台、現公民館 25 台

= 計 56 台確保可能

■図エ-7 既存レリーフ

- 鹿沼の文化・工芸を活かした新しい街づくりの拠点 庁舎・神社・公園・まちの駅との相乗連携

(万人)

12 I

庁舎は公民館:市民利用スペースは、閉庁時でも単独 利用が可能な動線計画・諸室配置とします。コミュニ ティ施設のないこの地区の新しい「公民館」となります。 **駐車場はイベント広場**:農産物直販市やイベント会場 としても活用可能な市民交流の場とします。

鹿沼の将来を見据えた現新館整備検討

① 当初:改修利用 + 将来:小さく改築

- 人口縮小など時代の変化に対応可能な新庁舎計画

25 年後、人口は 2 割減となり、必要面積は約 9.200 ㎡と推

定されます。変化に対応する庁舎整備を検討・提案します。

改修利用:現新館改修を含め約11.000㎡で整備します。

将来減築:今回新築部で庁舎機能を賄えます。交流棟

を 3 階建約 1,000 ㎡の市民協働スペース「公民館」

として整備します。将来の建設費、維持費を抑えます。

一体改築:共用部重複や新旧接続部での面積ロスがな

く、効率が高まり、約 10.000 ㎡での整備が可能です。

将来改修:「公民館」へ部分改修可能な計画とします。

仮庁舎不要・将来減築可能な①を提案しますが、必要

而積・市民要望の変化、仮庁舎、解体・改修・新築費、

現在

人口推移グラフ

に改築を想定

人口

98,880

(人)

79,848

現新棟を耐用年数竣工60年(2040年)

職員数

(X)

435 (人)

■図エ-4人口減による適正な庁舎規模

庁舎規模

11,000

9.200 (m)

^(㎡)↓2割減

・2040年人口は現在の2割減と推定

変わる庁舎像、初期・将来費用等、多面的な比較検討

維持費等を基本設計にて多面的に比較検討します。

2割減

協働と賑わいが生まれる庁舎

79 848

98.880

② 当初:一体改築 + 将来:公民館にリノベーション

秋祭りをサポート:駐車場は観光バス駐車場に利用出 来る広さと形状です。市民利用スペースは氏子さんの 休憩場所としても利用可能です。新庁舎神社側の壁に 彫刻屋台の実況映像を映したり、プロジェクション マッピングしたりと、屋台を待つ間も盛り上げます。 歴史的街区を回遊する: まちの駅から表参道と神社 庁舎、御殿山公園を結ぶ回遊動線を整備します。[図44



■図エ-8 秋祭りをサポートする庁舎

(9台) 現東館 庁舎エリア ATM 現本館 既存庁舎 駐輪場 来庁舎動線 現新館 駐車場: 公民館跡地 25 台 工事車両動組 (2) (3)

の実績があります。

仮庁舎不要で工期30ヵ月

- 現新館の庇、ポーチ廻り撤去
- 仮設オイルタンク新設 既存オイルタンク撤去 現新館にEV設置
- ・現本館、現新館とも業務継続可能 現新館の東側出入口は閉鎖 駐車場
- 敷地内81台、現東館9台、 現公民館 25 台:計 115 台確保可能



議会棟改築工事 行政棟改築工事

・現本館、現新館とも業務継続可能 ・現本館北側アプローチは現状通り 駐車場

• 敷地内 8 台、現東館 9 台 現公民館 25 台:計 42 台確保可能 ※御殿山庁用駐車場、まちの駅第2駐車場も利用できる動線計画なども検討します。

現本館 -駐輪場 」 既存庁舎 (3), <--: 引越し 駐車場: 公民館跡地 25 台 (1) 財車場

丁車 行政棟竣工 議会棟竣工 行政棟廻り外構竣工 現東館改修工事

・行政棟、議会棟へ引越 (現庁舎収容可) 駐車堤 敷地内 26 台、現東館 9 台、

外構整備工事 -1 -・北側から歩行者空間を利用しアプローチ可能 現東館の会議室を利用開始 駐車堤 ・敷地内 18 台、現東館 9 台 現公民館 25 台:計 60 台確保可能

現本館解体工事 -1

現新館改修工事

本館

現新館

13

庁舎棟 🕻

現公民館 25 台=計 52 台確保可能

(9台) 現東館

駐車場: 公民館跡地 25 台

ATM

駐輪提

■図エ-5 仮庁舎不要な建替え計画